



【防災週間】多様化する住まい方、これまでの防災対策で大丈夫なのか？

地震、豪雨、火災など今年だけで多くの災害に見舞われた日本列島。防災への意識も高まっていますが、同様にタワーマンションを始めとして、人々の住まい方も変わってきています。果たしてその対策は万全なのでしょうか？

業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）を行う「不動産の達人 株式会社さくら事務所」（東京都渋谷区／社長：大西倫加）が、8月30日（木）～9月5日（水）の防災週間、住まいの防災お役立ちコンテンツを毎日更新いたします。一戸建てにお住まいの方もマンションにお住まいの方にも役立てて頂ける情報が満載です。

尚、メディアの皆さまには先駆けて全コラムを公開いたしますので、ご覧になりたい方は広報室までお問い合わせください。より詳しい情報や転載希望の方もお気軽にどうぞ。



8/30 公開 機械式駐車場の水没に半地下住戸の浸水、そのとき管理組合は？

過去に都内のマンションで起きた水害被害と、さくら事務所が携わったその対応、今後の防止策の実例をご紹介します。機械式駐車場の水没、半地下住戸の浸水。施工会社・分譲会社を交えたその解決法、対応策とは？

8/31 公開予定 DIYのせいで被害拡大？意外なものが火災を広げる

人気のDIYやリフォーム、リノベーション。ですが、そのとき注意点を見過してしまつと火災の被害を拡大させる恐れも。

9/1 公開予定 マンション住まいなら必見の最新防災設備とその活用法

防災意識の高いマンション管理組合では、その度に防災対策をアップデートしています。せっかくの設備や備品、宝の持ち腐れにならないような活用法について。

9/2 公開予定 「倒壊しない＝安全？」耐震基準を改めて考える

熊本地震の被害で揺らいだ、新耐震基準への信頼。

最新の基準で建てられた住まいも、実は知らないところで耐震性能を落としている可能性があります。

9/3 公開予定 災害時、マンションの生活用水を確保するための秘策

高層化が進むマンション。躯体に比べ、設備の耐震性はまだまだ。災害時、マンションのライフラインはどうなるのか？

9/4 公開予定 都内でも危険！浸水しやすい家と被害を抑えるためのポイント

都内では容積率や高さの規制から、実は水害に弱い住宅が多く存在します。その見分け方は？そしてそんな住まいで浸水被害にあわない、被害拡大させないためのポイントを紹介します。

9/5 公開予定 災害時、大規模マンションでの安否確認はどう行う？

マンション管理組合で災害時にまず取り組むべきは、居住者の安否確認。タワーマンションなど大規模化が進むマンションでスムーズな安否確認を行うためにどのような備えをしておけばいいのでしょうか？

住まいの防災お役立ち情報を毎日更新！「防災キャンペーン」の詳細はこちら
<https://www.sakurajimusyo.com/bosai2018>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行なう「不動産の達人サービス」を提供、42,000組超の実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726

FAX 03-6455-0022 マーケティング・コミュニケーション部：川崎 徳子

press@sakurajimusyo.com